

## 見積参考資料

工事名 R6徳土 徳島上那賀線（小谷橋） 上勝・旭 橋梁修繕工事（担  
い手確保型）（着手日指定型）

### ◇経費情報◇

工種区分	橋梁保全工事
単価地区	徳島4
施工地域・工事場所	一般交通影響有り（2）-1
前金支出割合	補正を行わない
契約保証	金銭的保証
現場環境改善費	計上しない

### 注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。

本工事は、「担い手確保モデル工事（発注者指定型）」であり、通期の週休2日の経費補正（担い手確保モデル工事実施要領参照）を計上している。

# 設計内訳書 (本01)

工事名	R6徳土 徳島上那賀線(小谷橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事(担 い手確保型) (着手日指定型)				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁補修工		式	1				
ひび割れ補修工		式	1				
充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:20m未満, 材料種類:可 とう性エポキシ樹脂系充填材	構造物	1				単 1号
低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エ ポキシ樹脂注入材	構造物	1				単 2号
断面修復工		式	1				
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.675m3, 材料種類:ホリ マセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有り	構造物	1				単 3号
左官工法 下部工	1構造物当り修復延べ体積:0.1m3未満, 材料種類:ホ リマセメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:無し	構造物	1				単 4号
水切り設置工		式	1				
水切り設置		m	24				単 5号
構造物撤去工		式	1				
運搬処理工		式	1				
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	0.7				単 6号

# 設計内訳書 (本01)

工事名	事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事					
R 6 徳土 徳島上那賀線 (小谷橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事 (担 い手確保型) (着手日指定型)							
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	0.7				単 7号
仮設工		式	1				
足場工		式	1				
足場		掛m2	40				単 8号
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	6				単 9号
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費 (率計上)		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				

# 設計内訳書（本01）

工事名	R 6 徳土 徳島上那賀線（小谷橋） 上勝・旭 橋梁修繕工事（担 い手確保型）（着手日指定型）			事業区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

# 1次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	充てん工法	1構造物当り補修延べ延長:20m未満, 材料種類:可とう性エポキシ樹脂系充填材	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(充てん工法)		20m未満, 0.36kg	構造物	1			単 10号	
合計								
単価							円/構造物	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	低圧注入工法	1構造物当り補修延べ延長:25m未満, 材料種類:エポキシ樹脂注入材	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ひび割れ補修工(低圧注入工法)		25m未満, 0.04kg, 0.54kg, 7個	構造物	1			単 11号	
合計								
単価							円/構造物	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.675m3, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有り, 0.1m3以上, 0.675m3	構造物	1			単 12号	
亜硝酸リウム			kg	6				
合計								
単価							円/構造物	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	左官工法 下部工	1構造物当り修復延べ体積:0.1m3未 満, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋ケレ ン・鉄筋防錆処理:無し	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		無し, 0.1m3未満, 0.068m3	構造物	1			単 13号	
合計								
単価							円/構造物	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 5号	水切り設置		単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	水切り材		m	1				
	合計							
	単価						円/m	

# 1次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,18.5km以下,全ての費用	m3	1				
	合計							
	単価						円/m3	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)			m3	1			単 14号	
合計								
単価							円/m3	

# 1 次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	足場		単位	掛m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場工		単管足場, 不要, 標準(1.0)	掛m2	1			単 15号	
合計								
単価							円/掛m2	



# 1次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人日	1			単 16号	
	合計							
	単価						円／人日	

# 2次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ひび割れ補修工(充てん工法)	20m未満, 0.36kg		単位	構造物	単価数量	1	単価
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	土木一般世話役		人	0.85			
	特殊作業員		人	1.3			
	普通作業員		人	1.1			
	材料費		kg	0.432			
	諸雑費(率+まるめ)		式	1			
	合計						
	単価						円/構造物

## 2次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	ひび割れ補修工(低圧注入工法)	25m未満, 0.04kg, 0.54kg, 7個	単位	構造物	単位数量	1	単価
	土木一般世話役		人	1.5			
	特殊作業員		人	2.4			
	普通作業員		人	1.8			
	注入材 ポキシ樹脂系注入剤		kg	0.04			
	シール材 ポキシ		kg	0.74			
	材料費		個	7			
	諸雑費(率+まるめ)		式	1			
	合計						
	単価						円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	断面修復工(左官工法)	有り, 0. 1m3以上, 0. 675m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	15. 525				
	特殊作業員		人	25. 65				
	普通作業員		人	16. 875				
	材料費 ポリマーセメントモルタル		m3	0. 797				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

# 2次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	断面修復工(左官工法)	無し, 0.1m3未満, 0.068m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1.9				
	特殊作業員		人	3.2				
	普通作業員		人	2.1				
	材料費 ポリマーセメントモルタル		m3	0.08				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/構造物

## 2次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	処分費(m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 Co殻 無筋		m3	100				
	合計							
	単価						円/m3	

# 2次単価表

単価使用年月	2024. 07
歩掛適用年月	2024. 07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	足場工	単管足場, 不要, 標準(1.0)	単位	掛m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	1.9				
	とび工		人	6.9				
	普通作業員		人	1.8				
	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 25t吊		日	0.8				
	諸雑費(率+まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/掛m2

## 2次単価表

単価使用年月	2024.07
歩掛適用年月	2024.07
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	交通誘導警備員B		人	1				
	諸雑費(まるめ)		式	1				
	合計							
	単価							円/人日



# 機材集計リスト (機械)

工事名	R 6 徳土 徳島上那賀線 (小谷橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事 (担 い手確保型) (着手日指定型)					
単価コード	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要
L001130006	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型]	25t吊	日	0.32	14,240	
M000301005	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	0.034	706	
	合計額				14,946	

## 見積単価一覧表

工事名	R6徳土 徳島上那賀線(小谷橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事(担い手確保型)(着手日指定型)			
名称	規格	単位	単価	備考
処分費	コンクリート殻(無筋)	m3	2,500	運搬距離L=17.2km
※以下は、週休2日補正として計上している金額の合計額を参考値として示したものです。				
直接工事費分	通期の週休2日経費補正	式	44,164	
共通仮設費分	通期の週休2日経費補正	式	0	



## 断面修復工

### 断面修復工 集計表

名 称	規 格	単 位	合 計	備 考
修復面積		m2	13.508	
修復材量	ロス含まず	m3	0.675	
修復材量	ロス率 +0.18	m3	0.797	
はつり工		m3	0.675	
コンクリート殻	無鉄筋構造物	m3	0.675	
亜硝酸リチウム	PSL-40 亜硝酸リチウム 40%水溶液	kg	5.952	

### ■ リハビリ断面修復工法 PSL-40 (亜硝酸リチウム40%水溶液) 必要量の算定

#### 修復材1.0m3当たり添加量

リハビリ断面修復工法 PSL-40 (亜硝酸リチウム40%水溶液) 必要量の算定

使用材料： ポリマーセメントモルタル ( 比重 = 1750 kg/m3 1袋 = 25 kg )  
PSL-40 ( 亜硝酸リチウム濃度 = 40 % )

前提条件： 塩化物イオン量 = 2.00 kg/m3  
モル比  
各原子(分子)量

Cl = 35.45  
Li = 6.941  
N = 14.01  
O = 16.00  
LiNO2 = 6.941 + 14.01 + 16.00 \* 2 = 52.95

亜硝酸リチウム必要量

= コンクリート中の塩化物イオン量 \* (亜硝酸リチウムの分子量 / 塩化物イオンの分子量) \* モル比  
= 2.00 \* ( 52.95 / 35.45 ) \* 1 = 2.987 kg/m3 . . . ①

PSL-40必要量

= ① \* ( 100 / 40 ) = 7.468 kg/m3 . . . ②

ポリマーセメントモルタル 1m3 (1750kg) に対するPSL-40の添加量

= ②  
= 7.468 kg/m3 . . . ③

注記) 塩化物イオン濃度試験を実施していないため、腐食発生限界塩化物イオン濃度2.0kg/m3を用いてリチウムイオン投入量を算出する。

#### 【1.0式当たり添加量】

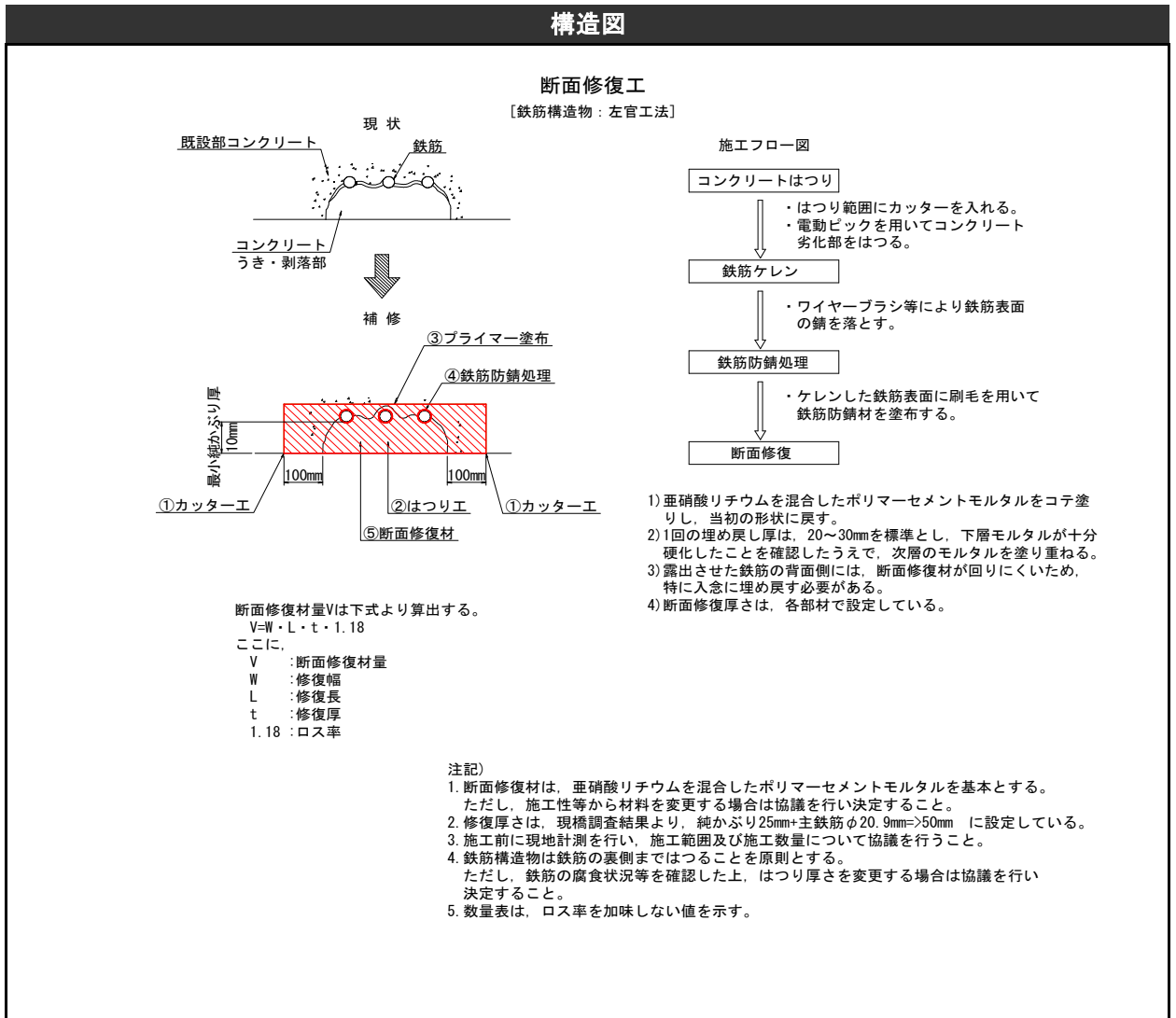
亜硝酸リチウム40%水溶液

V = 0.797 \* 7.468

= 5.952 kg

## 断面修復工

補修箇所の番号と形状は、補修詳細図を参照のこと。



## 数量集計

### 集計表

	修復面積	修復材料(m3)		はつり工	コン殻	備考
	(m2)	実数	ロス率含	(m3)	(m3)	
	13.508	0.675	-	0.675	0.675	・コン殻=補修材料*100%
合計	13.508	0.675	0.797	0.675	0.675	・ロス率(K)= +0.18

○施工単価入力基準

工種：断面修復工(左官工法)

歩掛コード	WB229210	施工単位	構造物	
施工区分	入力条件			備考
各種	J1		J2	J3
	鉄筋ケレン・防錆処理		修復延べ体積区分	修復延べ体積
	①有り	②無し	①<0.1m3 ②≥0.1m3	0.797 m3
	○		○	

## 数量計算

数量計算表

場所	面積 (m <sup>2</sup> )	数量 (m <sup>3</sup> )	備考
上部工	13.508	0.675	
合計	13.508	0.675	

## 上部工

数量計算表 上部工

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.21	0.72	0.0756	0.05	0.004	下流側地覆※
(2)	0.21	0.55	0.0578	0.05	0.003	〃
(3)	0.20	0.55	0.1100	0.05	0.006	下流側地覆側面
(4)	0.17	0.21	0.0179	0.05	0.001	下流側地覆※
(5)	0.17	0.37	0.0315	0.05	0.002	〃
(6)	0.20	0.37	0.0740	0.05	0.004	下流側地覆側面
(7)	0.18	1.50	0.2700	0.05	0.014	上流側地覆
(8)	0.30	0.30	0.0900	0.05	0.005	床版下面
(9)	0.40	0.30	0.1200	0.05	0.006	〃
(10)	0.40	0.40	0.1600	0.05	0.008	〃
(11)	0.55	0.48	0.2640	0.05	0.013	〃
(12)	0.45	2.10	0.9450	0.05	0.047	〃
(13)	0.25	0.81	0.1013	0.05	0.005	床版下面※
(14)	0.25	1.02	0.1275	0.05	0.006	〃
(15)	0.57	0.92	0.2622	0.05	0.013	〃
(16)	0.57	0.51	0.1454	0.05	0.007	〃
(17)	0.57	4.24	2.4168	0.05	0.121	床版下面
(18)	0.20	1.11	0.2220	0.05	0.011	〃
(19)	0.73	0.73	0.5329	0.05	0.027	〃
(20)	0.60	0.91	0.5460	0.05	0.027	〃
(21)	0.30	1.23	0.3690	0.05	0.018	〃
(22)	0.77	0.41	0.3157	0.05	0.016	〃
(23)	0.60	0.76	0.2280	0.05	0.011	床版下面※
(24)	0.60	1.15	0.3450	0.05	0.017	〃
(25)	0.74	0.48	0.1776	0.05	0.009	〃
(26)	0.74	0.97	0.3589	0.05	0.018	〃
(27)	0.84	0.49	0.2058	0.05	0.010	〃
(28)	0.50	0.49	0.1225	0.05	0.006	〃
(29)	0.27	0.73	0.1971	0.05	0.010	床版下面
(30)	0.73	0.23	0.0840	0.05	0.004	床版下面※
(31)	0.57	0.23	0.0656	0.05	0.003	〃
(32)	0.20	1.00	0.2000	0.05	0.010	床版下面
(33)	0.40	1.71	0.6840	0.05	0.034	〃
(34)	0.20	2.11	0.4220	0.05	0.021	〃
(35)	0.69	4.31	2.9739	0.05	0.149	〃
(36)	0.45	0.42	0.1890	0.05	0.009	〃
		合計	13.5080		0.675	

※は、 $A=W \times L \times 1/2$

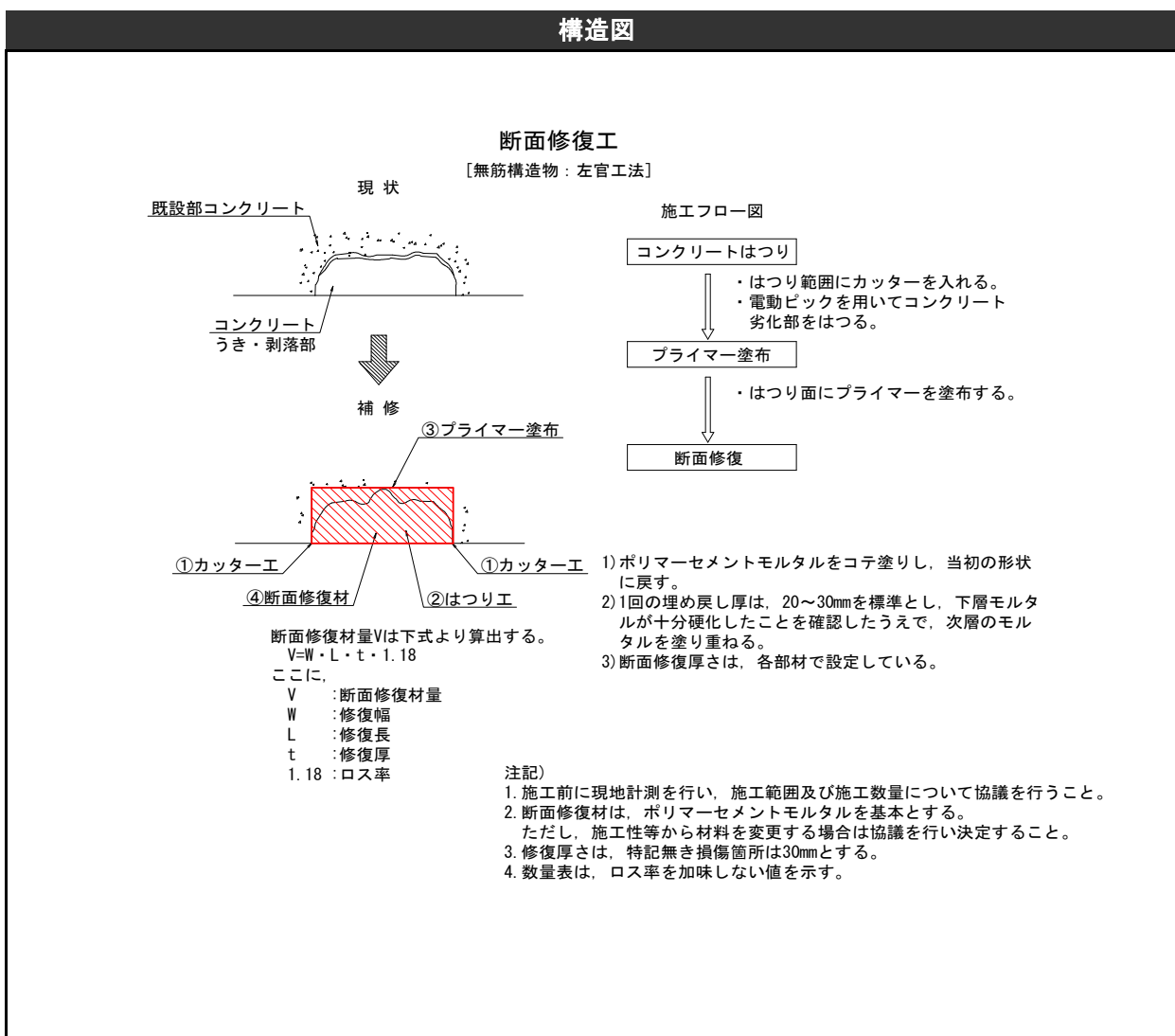
## 断面修復工

断面修復工 集計表(下部工)

名 称	規 格	単 位	合 計	備 考
修復面積		m2	2.268	
修復材量	ロス含まず	m3	0.068	
修復材量	ロス率 +0.18	m3	0.080	
はつり工		m3	0.068	
コンクリート殻	無鉄筋構造物	m3	0.068	

## 断面修復工(下部工)

補修箇所の番号と形状は、補修詳細図を参照のこと。



## 数量集計

集計表

	修復面積	修復材料(m3)		はつり工	コン殻	備考
	(m2)	実数	ロス率含	(m3)	(m3)	
	2.268	0.068	-	0.068	0.068	・コン殻=補修材料*100%
合計	2.268	0.068	0.080	0.068	0.068	・ロス率(K)= +0.18

○施工単価入力基準

工種：断面修復工(左官工法)

歩掛コード	WB229210	施工単位	構造物		
施工区分	入力条件			備考	
各種	J1		J2	J3	
	鉄筋ケレン・防錆処理		修復延べ体積区分	修復延べ体積	
	①有り	②無し	①<0.1m3   ②≥0.1m3	0.080 m3	
	○	○			



## 数量計算

数量計算表

場所	面積 (m <sup>2</sup> )	数量 (m <sup>3</sup> )	備考
橋台	2.268	0.068	
合計	2.268	0.068	

## 橋台

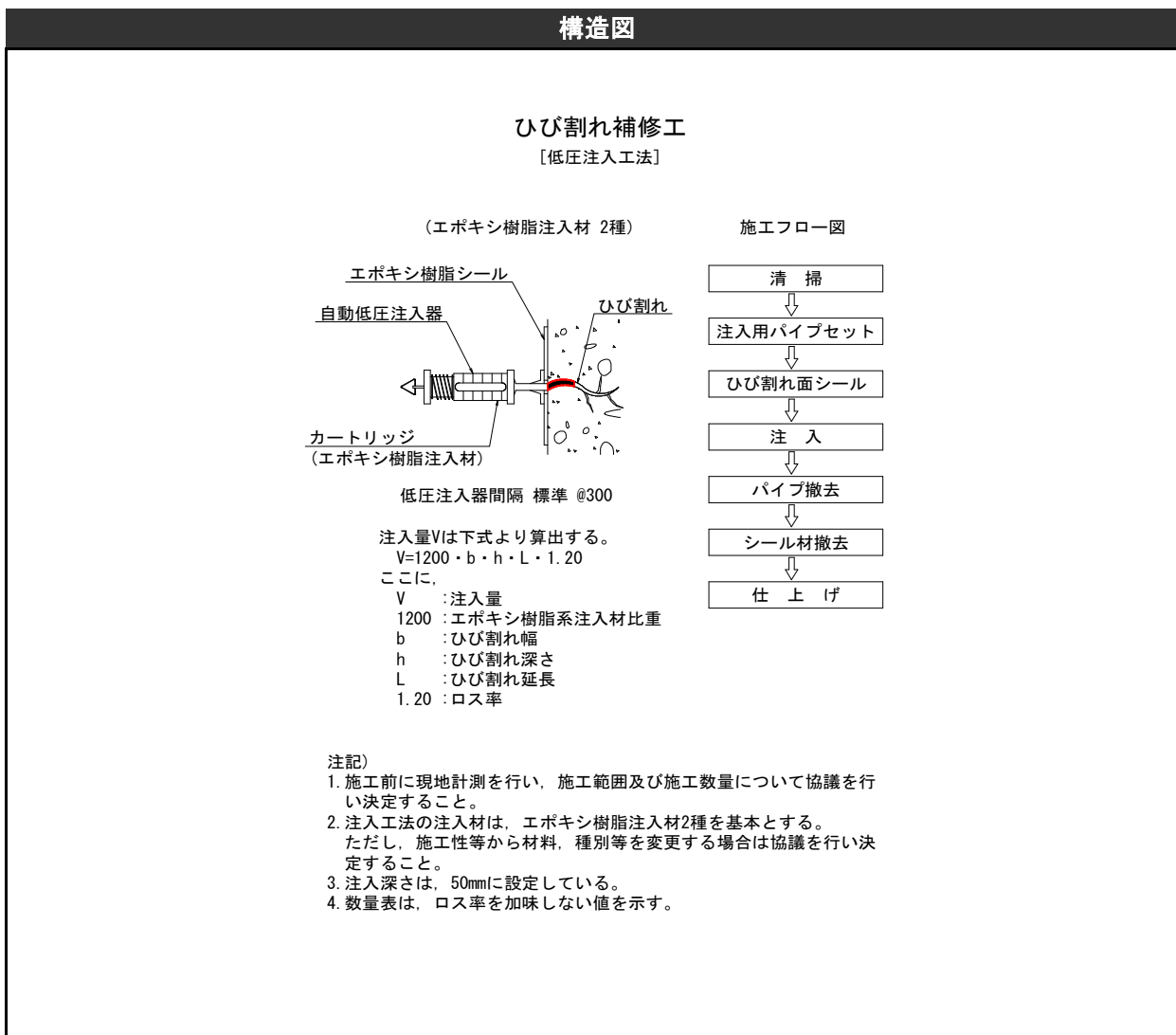
数量計算表

番号	幅 (m)	長さ (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	厚さ (m)	数量 (m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.40	5.67	2.2680	0.03	0.068	A1橋台正面
		合計	2.2680		0.068	

# ひび割れ補修工

## 低圧注入工法

補修箇所の番号と形状は、補修詳細図を参照のこと。



## 数量集計

ひび割れ補修工 集計表

	注入工	シール材(kg)		注入材(kg)		注入器具	備考
	(m)	実数	ロス率含	実数	ロス率含	(個)	
	2.10	0.54	0.74	0.04	0.05	7	
合計	2.10	0.54	0.74	0.04	0.05	7	

○施工単価入力基準

工種：ひび割れ補修工(低圧注入工法)

歩掛コード	WB229110	施工単位	構造物	入力条件					備考	
施工区分										
各種	J1		J2	J3	J4	J5				
	補修延べ延長区分		補修延べ延長	注入材使用量	シール材設計料	器具使用量				
	①25m未満	②25m以上	(m)	(kg)	(kg)	(個)				
	本橋		2.10	0.05	0.74	7				

## 基準数量

以下に、基準数量(10m当たり)を算出する。算出時の規準は以下のとおり。

- ①ひび割れ注入材の品質規格は、国土交通省規格エポキシ2種に準じる材料とする。
- ②シール材ロス率：37% (土木工事標準積算基準書/徳島県県土整備部)
- ③注入材ロス率：20% (橋梁架設工事の積算/(社)日本建設機械施工協会)

### 【基準数量(10m当たり)】

- ①ひび割れ注入工(エポキシ樹脂低圧注入)

$$L = 10.0 = 10.0 \text{ m}$$

- ②シール材(W50mmxt3mm, 比重1700kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 1700 * 0.050 * 0.003 * 10.0 = 2.55 \text{ kg}$$

・ロス率を含む

$$W = 2.55 * 1.37 = 3.49 \text{ kg}$$

- ③注入材(エポキシ樹脂注入材 2種, 比重1200kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.04 / 2.10 * 10.0 = 0.19 \text{ kg}$$

・ロス率を含む

$$W = 0.19 * 1.20 = 0.23 \text{ kg}$$

- ④注入器具

$$N = 10.0 / 0.300 = 33 \text{ 個}$$

解説表-6.3.1 建設省総合技術開発プロジェクト 注入材と充填材の品質規格

項目	材料の種類				
	土木補修用エポキシ樹脂注入材 1種	土木補修用エポキシ樹脂注入材 2種	土木補修用エポキシ樹脂注入材 3種	土木補修用充填材ポリマーセメント系	土木補修用充填材シーラント系
ひび割れ進行区分	※1	B	A	B	A, B
ひび割れ幅(mm)		0.2 ~ 5.0		5.0 <	
粘度(mPa・s)	1,000 以下	4 ± 1 ※2	1,000 以下	1,000 以下	タレを認めず
可使時間(分)	30以上	30以上	30以上	30以上	240以上
硬化時間(時間)	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内
硬化収縮(%)	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—
伸び率(%)	—	50以上	100以上	—	800以上
モルタル付着強さ(乾燥面)(N/mm <sup>2</sup> )	6以上	6以上	6以上	6以上	たわみ量10mm以上で破壊すること
付着力耐久性保持率(%)	※3 60以上	60以上	60以上	60以上	60以上

※1：A＝ひび割れが進行している、B＝ひび割れの進行が止まった

※2：チキソトロピック係数 2rpm/20rpm の粘度で表す。

※3：規格に対する百分率

「コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針 -2013- (社)日本コンクリート工学会 P.128」

### 注記)

使用材料は、建設物価(財)建設物価調査会 接着剤(1) コンクリート要(1) 注入補修工所用〈エポキシ樹脂系〉から選定のこと。

## 数量計算

数量計算表

場所	延長 (m)	数量 (kg)	備考
床版下面	2.10	0.038	
合計	2.10	0.038	

### ○数量集計

#### ①延長

$$\Sigma L = \text{数量集計表より} = 2.10 \text{ m}$$

#### ②シール材

$$\Sigma W = 2.55 \text{ kg/10m} * 2.10 / 10 = 0.54 \text{ kg}$$

#### ③注入材

$$\Sigma W = \text{数量集計表より} = 0.04 \text{ kg}$$

#### ④注入器具

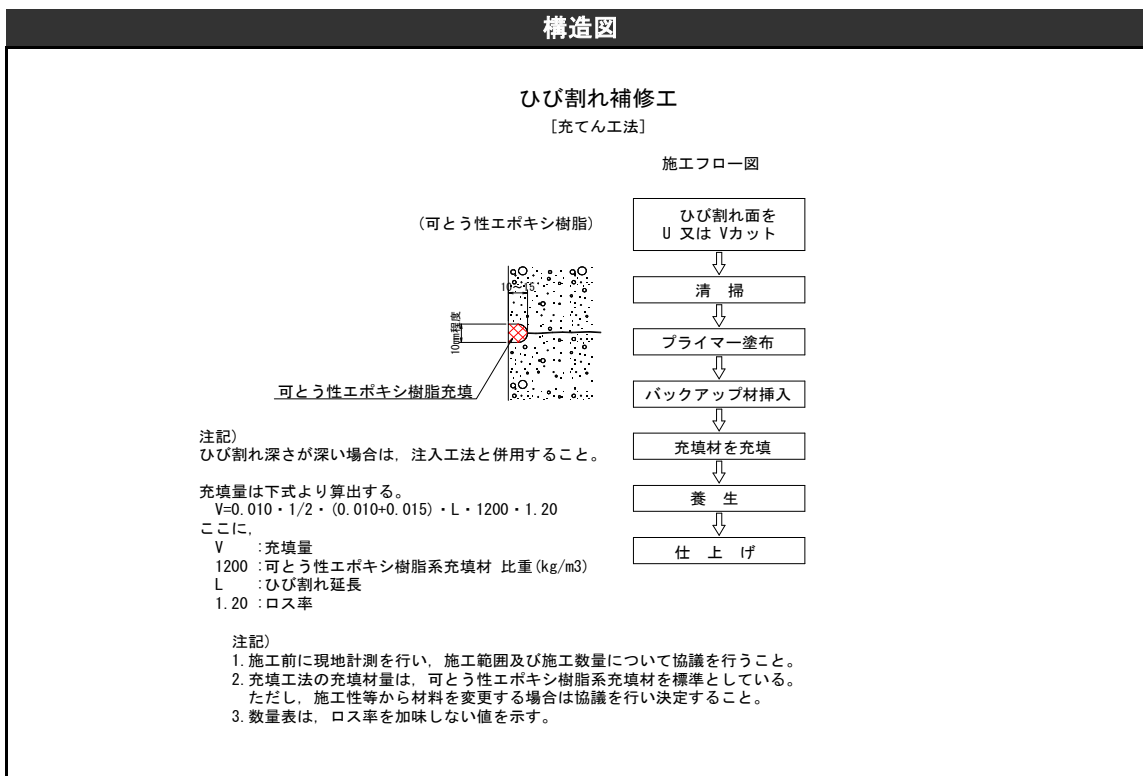
$$\Sigma W = 33 \text{ 個/10m} * 2.10 / 10 = 7 \text{ 個}$$

## 主桁

数量計算表

番号	幅 (mm)	延長 (m)	深さ (m)	数量 (kg)	備考
(1)	0.20	1.40	0.050	0.017	床版下面
(2)	0.50	0.70	0.050	0.021	"
計		2.10		0.038	

# ひび割れ補修工 ひび割れ充てん工



## (1.0式当たり数量)

充填延長

$$L = 2.40 \quad = \quad 2.40 \quad \text{m}$$

コンクリート殻(無筋構造物)

$$V = 0.010 \cdot 1/2 \cdot (0.010 + 0.015) \cdot 2.40 \quad = \quad 0.001 \quad \text{m}^3$$

充填材(可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重1200kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.360 \quad = \quad 0.36 \quad \text{kg}$$

充填材(ロス率を含む)

$$W = 0.36 \cdot 1.20 \quad = \quad 0.43 \quad \text{kg}$$

## (10.0m当たり数量)

充填延長

$$L = 10.0 \quad = \quad 10.0 \quad \text{m}$$

コンクリート殻(無筋構造物)

$$V = 0.010 \cdot 1/2 \cdot (0.010 + 0.015) \cdot 10.0 \quad = \quad 0.001 \quad \text{m}^3$$

充填材(可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重1200kg/m<sup>3</sup>)

$$W = 0.36 / 2.40 \cdot 10.0 \quad = \quad 1.50 \quad \text{kg}$$

充填材(ロス率を含む)

$$W = 1.50 \cdot 1.20 \quad = \quad 1.80 \quad \text{kg}$$

## 注記)

- ・ 充填材ロス率20%(令和3年度土木工事標準積算基準書/徳島県県土整備部)

## ■ひび割れ充てん工数量集計表

補修箇所の番号と形状は、補修詳細図を参照のこと。

### ひび割れ充てん工 集計

	延長 (m)	充填量
	(m)	(kg)
合計	2.40	0.360

### 下部工

下部工 ひび割れ充てん工 数量集計表

番号	延長 (m)	充填量	備考
(1)	0.50	0.075	A2橋台
(2)	0.30	0.045	"
(3)	1.60	0.240	"
計	2.40	0.360	

(ひび割れ充填量)

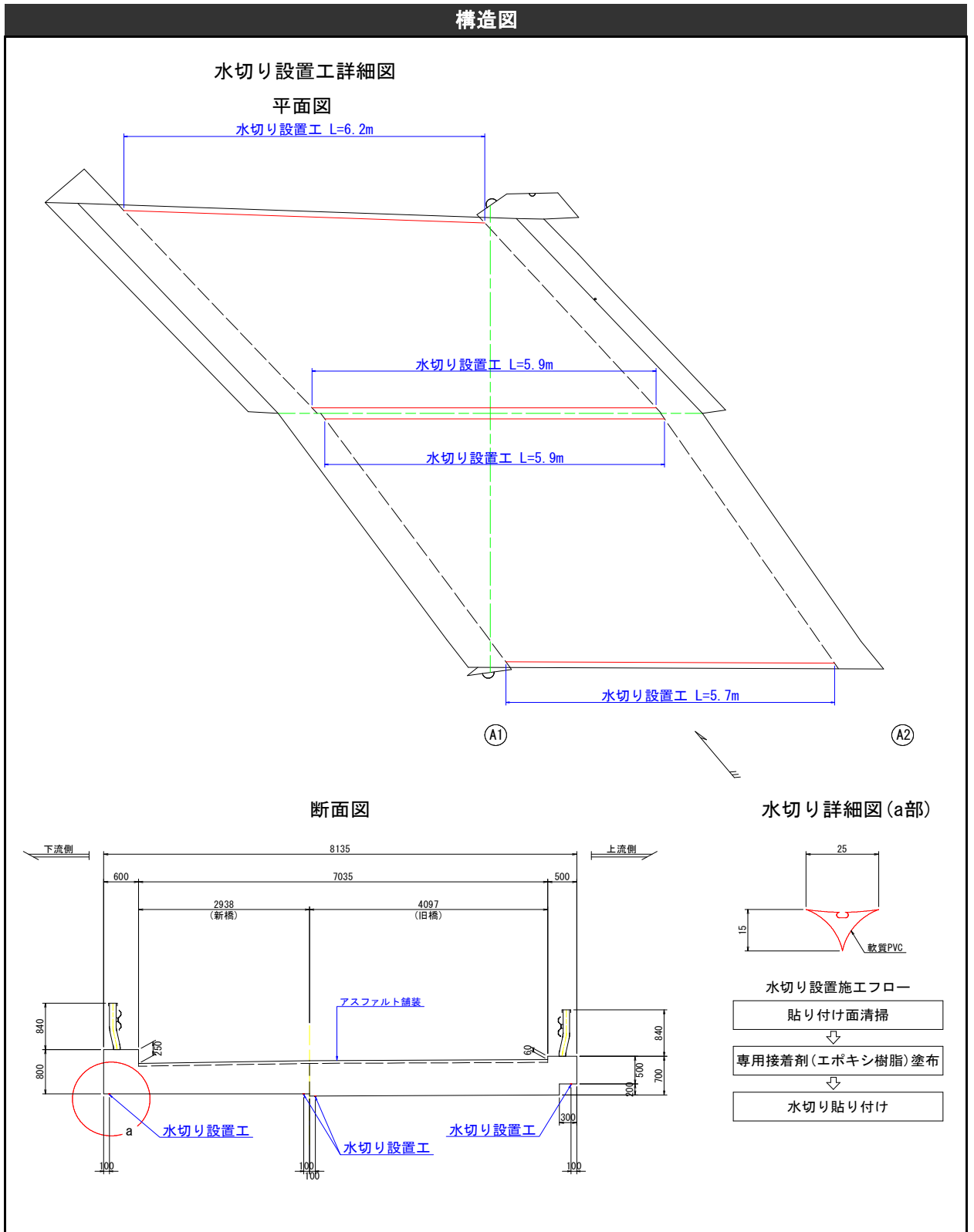
- ・ 充填量は下式より算出する。

$$V=0.010 \times 1/2 \times (0.010+0.015) \times L \times 1200$$

V: 充填量, 1200: 可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重 (kg/m<sup>3</sup>)

L: ひび割れ延長

水切り設置工  
水切り設置工



【1.0式当たり】

水切り設置工 (後施工接着型 : 軟質PVC)

$$L = 6.2 + 5.9 \times 2 + 5.7$$

$$= 23.7 \text{ m}$$

殻運搬処理  
無筋コンクリート殻

【1.0式当たり】

V1= 0.675 …断面修復工(上部工)

= 0.675

V2= 0.068 …断面修復工(下部工)

= 0.068

V3= 0.001 …ひび割れ充てん工

= 0.001

---

合計 = 0.744 m3

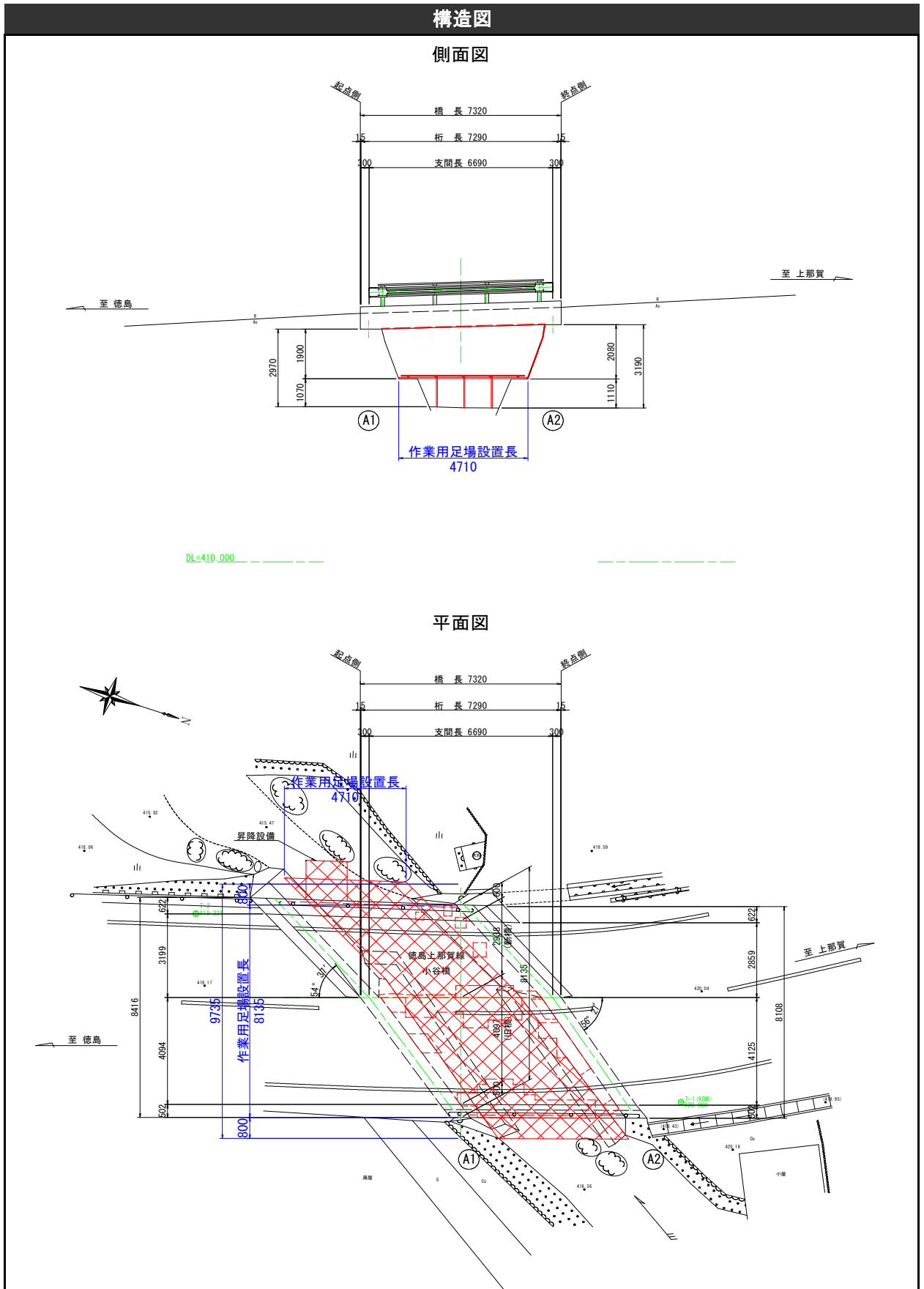
t当たり数量(2.35t/m3)

W= 0.744\*2.35

= 1.75 t

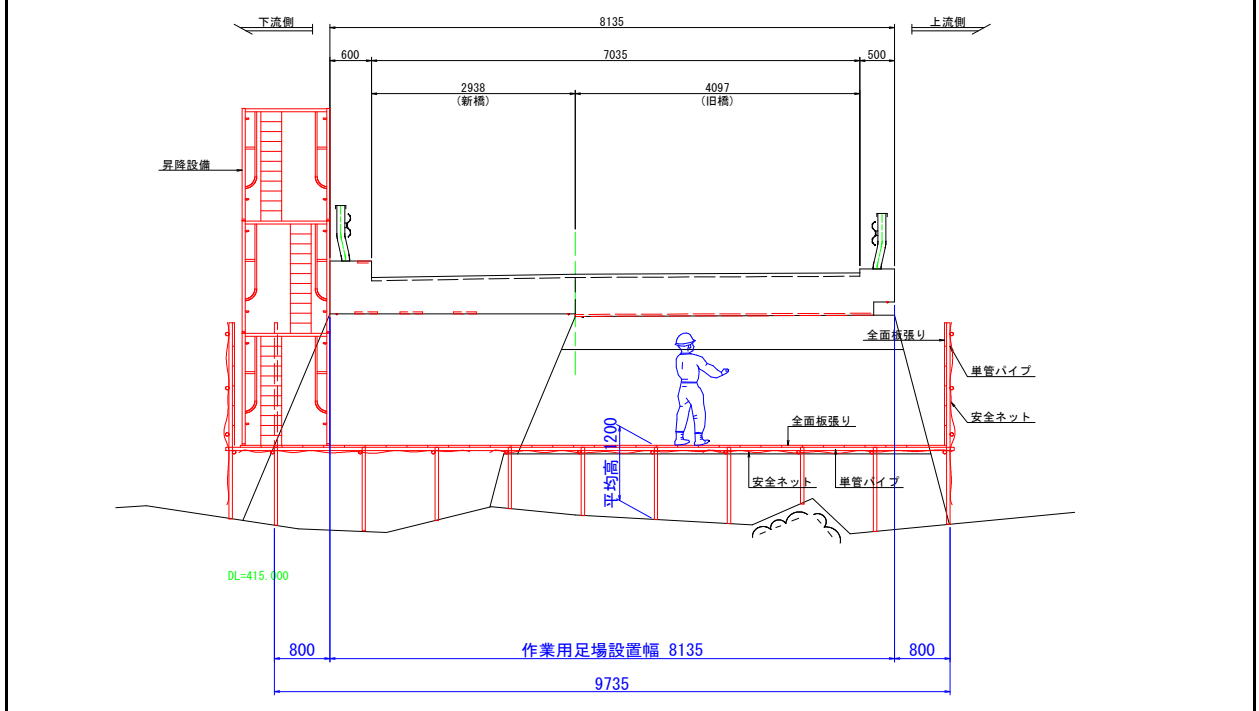


仮設足場工  
作業用足場設置



## 構造図

### 断面図



### 数量算出条件

#### 足場工数量計算

足場計画は、河床から設置する計画であるため、単管足場にて数量計上する。

単管足場の作業床標準幅は1.2mであるため、

A: 単管足場投影面積 (m<sup>2</sup>)

$$A = A' / 1.2 * H$$

A': 足場平面積 (m<sup>2</sup>)

H: 単管足場設置高さ (m)

$$A = (8.135 * 4.710) / 1.200 * 1.200 = 38.3 \text{ 掛m}^2$$

足場を供用している月数

$$X = \text{全体工事工程表より (2ヶ月} \times 30\text{日)} = 60 \text{ 日}$$

## 安全対策工 交通管理工

### 交通整理人配置

・ 配置条件            交通整理人(B) 昼間作業 …………… 3名/日

・ 配置人数 : 交通整理人(B)

$$N = 3 \text{ 名/日} * 2 \text{ 日} = 6 \text{ 人}$$